

第35回 国づくりシンポジウム

周南市スマートシティ推進シンポジウム

地域課題の解決や新たな価値の創造につながるAI、IoT等の先端技術、ビッグデータ等を活用した取組に対する市民一人ひとりの理解の深化や意識の醸成を図ることを目的として、シンポジウムを開催します。

開催日 2023年 1月9日 (祝)

時間 13:00~16:00

プログラム

○主催者あいさつ

- ・周南市長 藤井 律子
- ・一般財団法人 国土計画協会
専務理事 太田 秀也

○登壇者発表 第1部 / 第2部

○パネルディスカッション

【テーマ】市民とつくる未来の暮らし



参加方法

会場またはオンライン

※オンライン参加の場合も事前申込みが必要です

※会場定員 40名

申込方法

いずれかで事前の申込みが必要です

- ・WEBフォーム 参加申込はコチラから→

<https://teket.jp/5209/18184>

- ・TEL 0834-33-9488

(有) レンタックス

(9:30~17:00 土、日、祝を除く)

※申込多数の場合は抽選となります

募集期間 12月8日(木)~12月28日(水)



会場

徳山駅前賑わい交流施設

3階 交流室2

住所

〒745-0034

山口県周南市御幸通2丁目28-2

参加費

無料

参加対象者

周南市民、周南市内に事業所等を有する法人の従業員等、スマートシティに興味のある方



【主催】

周南市

一般財団法人 国土計画協会

登壇者紹介

【発表・コーディネーター】



東京大学大学院工学系研究科教授（周南市スマートシティ推進アドバイザー）

羽藤 英二（はとう えいじ）様

東京大学大学院教授。

内閣府経済財政諮問会議専門委員、国土交通省大臣官房技術調査課 社会資本整備審議会交通政策審議会委員等を歴任。岩手県津波復興技術検討会議委員、陸前高田市 震災復興計画推進委員会等を歴任し、全国の被災地各地で復興計画に携わる一方、道後温泉飛鳥乃湯泉基本設計、池袋アートカルチャー構想、鄭州新都市設計などを手掛ける。世界交通学会Bursary Prize、土木学会論文賞、グッドデザイン賞などを受賞。

【発表・パネリスト】



筑波大学スマートウェルネスシティ政策開発研究センターアドバイザー（前内閣府地方創生推進事務局長）

青木 由行（あおき よしゆき）様

山口県生まれ。建設省、国土交通省、内閣府、宮崎県、鳥取県等において、まちづくり、道路政策、地方創生、建設業、不動産・土地政策等を担当。国土交通省都市局長としてウォークラブルなまちづくり、スマートシティに関する施策を創設。内閣府地方創生推進事務局長としてスーパーシティの指定を担当。2022年6月退官し、内閣府本府参与。10月より（一財）不動産適正取引推進機構理事長とともに「健幸」をまちづくりの基本に据えた新しい都市モデル「Smart Wellness City」の筑波大学政策開発研究センターアドバイザーを務める。

【発表・パネリスト】



前橋市 副市長

大野 誠司（おおの せいじ）様

2003年総務省入省。IT戦略策定、ICTを活用した地域活性化、ICT国際展開等の情報通信政策立案、推進に従事。2016年から2019年の前橋市情報政策担当部長を経て、2021年に前橋市副市長に就任。庁内外のDX化に取り組むほか、前橋版MaaSの高度化・広域化の実現や、リアルとデジタル両面で魅力的なまちづくりを推進する「まえばし暮らしテック推進事業」に取り組む。

【発表・パネリスト】



NEC 上席プロフェッショナル

西岡 満代（にしおか みつよ）様

NEC入社後、グローバル市場向けに無線通信、モバイルインターネットサービス、IoT、SDN/NFV、サイバーセキュリティなど、主に通信キャリア向けソリューションの事業を推進。途中北米ボストンへの出向を経て、現在は、データ利活用を通じた価値創出や共創の力でスマートシティの社会実装に取り組む。NECのシンクタンクである国際社会経済研究所の研究主幹も務め、産官学民を問わずスマートシティに携わるリーダーと、目指すスマートシティ像の研究に携わっている。

【パネリスト】

周南市 企画部長 川口 洋司（かわぐち ひろし）